

**新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための
緊急対策第4弾
(令和2年第3回臨時市議会提案分)**

令和2年(2020年)6月25日
札幌市

新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための 緊急対策第4弾

現 状

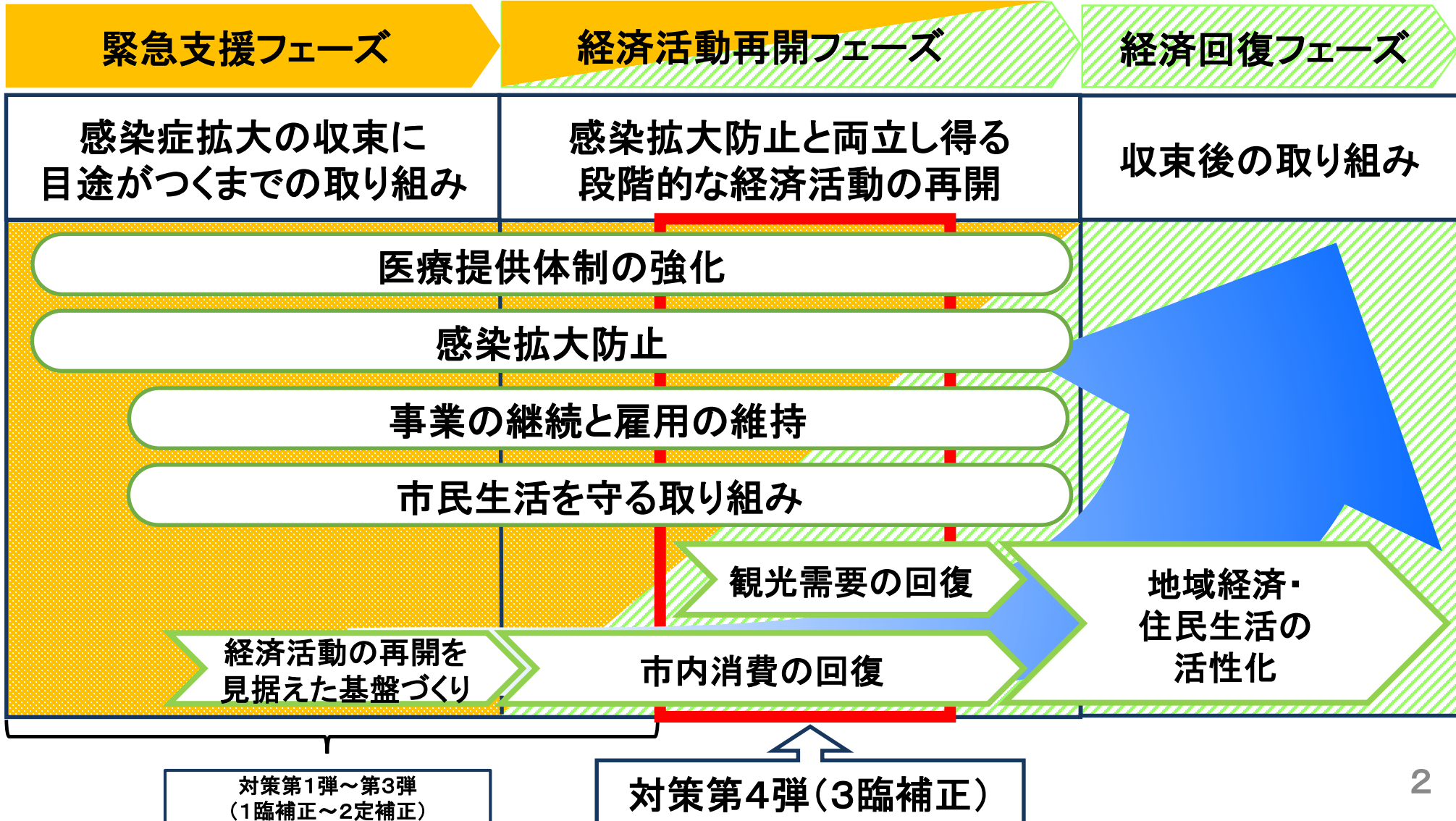
- ◆ 緊急事態宣言が5月25日に解除され、6月19日からは全国で、都道府県をまたぐ移動自粛の解除や一定規模以下のコンサートの開催など、社会経済活動への制限がさらに緩和
- ◆ 「北海道スタイル」を踏まえた経済活動の段階的な回復が進められているが、長期にわたる休業要請の影響は大きく、引き続き市内経済は厳しい状況が続くことが予想

対策の考え方

- ◆ 6月12日に成立した国の第2次補正予算を活用しながら、札幌市として第4弾となる緊急対策を実施
- ◆ 次なる感染拡大の波に備えるため、医療機関支援の拡充により必要な医療提供体制を確保
- ◆ 深刻な市内経済の状況を踏まえ、引き続き必要な事業者支援を行うとともに、本格的な経済活動の再開に向けて、感染症対策を講じながら、市内消費や観光需要の回復のための取り組みを着実に進める

各フェーズにおける対応イメージ

北海道スタイルの実践



緊急対策第4弾

※「対策規模」は今回の補正予算額に加え、令和元年度及び2年度の既往予算による対応額や融資枠の拡大分等を含めた金額です

令和2年第3回臨時市議会

補正予算 全会計 117億円
(一般会計 111億円)

| 対策規模 | | |
|--------|-------|--------|
| これまで | 第4弾 | 合計 |
| 3125億円 | 120億円 | 3245億円 |

1 必要な医療の提供と 感染拡大防止のために 68億円

| 対策規模 | | |
|------|------|-------|
| これまで | 第4弾 | 合計 |
| 71億円 | 66億円 | 137億円 |

<医療提供体制の強化> 42億円

◆院内感染防止対策等に対する支援【3370百万円】

- ・二次救急医療機関等を対象に、院内感染防止対策や診療体制確保等のための費用を補助（上限額：病床数に応じて1施設2000万円～1億2000万円）
- ・市立札幌病院の院内感染防止用診察室の整備や医療機器の増強を実施

<国の二次補正による医療提供体制の拡充>

医療従事者への支援

- ◆慰労金の支給
⇒ 5～20万円/人

感染症に対応する

医療機関への支援

- ◆重点医療機関の病床確保等
⇒補助単価約3倍

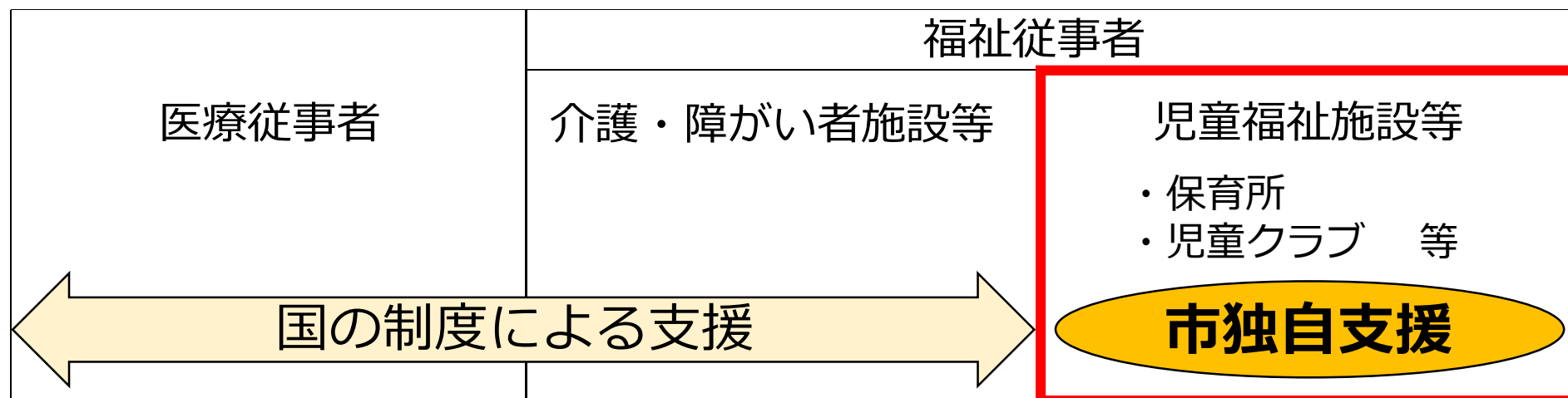
地域医療の確保

- ◆医療機関・薬局等の感染拡大防止支援
⇒有床診療所：200万円
無床診療所：100万円
等
- ◆二次救急医療機関等の院内感染防止対策
⇒上限額：2000万円～
1億2000万円/病院

<感染リスクを抱えながら社会を支えていただいた福祉施設職員への支援> 9億円

◆児童福祉施設等に勤務する職員への慰労金の支給【909百万円】

- ・ 保育所、児童クラブ等の児童福祉施設に勤務する職員等を対象として、1人5万円の慰労金を支給



<子どもたちを感染症から守るための支援> 16億円

◆学校や児童福祉施設等の感染症予防体制の強化【1591百万円】

- ・ 感染症予防のための衛生用品や備品の購入費用等を補助

2 事業の継続と雇用の維持、 生活を支えるために 10億円

| 対策規模 | | |
|--------|------|--------|
| これまで | 第4弾 | 合計 |
| 2989億円 | 10億円 | 2999億円 |

<市内事業者の事業継続のための支援> 7億円

- ◆感染症対策を講じながら事業を継続する事業者への支援金の支給【392百万円】
 - ・ホテル…客室数に応じて10万円～100万円
 - ・民泊…5万円
 - ・タクシー事業者（法人・個人）…1万円/台
 - ・バス事業者…10万円/台
※市内完結の路線バス
- ◆市内中小企業のテレワーク等の導入に対する支援【308百万円】
 - ・補助の申請枠を50社→500社に拡充（補助上限80万円、補助率3/4）

<子どもたちの学びの支援> 2億円

- ◆臨時休校により学習面の支援が必要な児童・生徒への学習支援【121百万円】
 - ・全市立学校（小・中・高・特支）に1校2人、7月～12月の平日放課後に実施
- ◆臨時休校等の緊急時に双方向の遠隔授業を実施するための環境整備【72百万円】



3 経済活動の回復のために 39億円

| 対策規模 | | |
|------|------|-------|
| これまで | 第4弾 | 合計 |
| 65億円 | 44億円 | 109億円 |

<観光需要回復のための支援> 30億円

- ◆国の「Go Toキャンペーン」実施前の市内宿泊需要の喚起【2320百万円】
 - ・市内宿泊施設で宿泊された方に施設内の飲食等で使える割引クーポンを配布
(配布額：3,000円×40万人)
 - ・市内宿泊施設で宿泊する際の宿泊代金の割引キャンペーンを実施
(割引額：5,000円×20万人)
- ◆国内観光需要の回復を目的とした宿泊キャンペーン【340百万円】
 - ・市内の宿泊施設で宿泊された方の中から、抽選で次回宿泊する際に使える宿泊補助券や特産品等をプレゼント (総額3億円)
- ◆市内観光施設の無料キャンペーン【178百万円】
 - ・市内施設への需要や観光需要の喚起を目的として、8/1～8/31の期間中、市内施設の入場料等を無料化
(対象施設：時計台、テレビ塔、藻岩山、大倉山、羊ヶ丘展望台など)

<観光需要回復のための支援> 30億円

| | 7月 | 8月 | 9～3月 |
|-----|----------------------------|--|-----------------------------|
| 国・道 | | GoToキャンペーン  道内旅行商品割引 (どうみん割)  | |
| 札幌市 | 市内宿泊需要の喚起【23億円】 | | 飲食等クーポン（3千円） 宿泊代金割引（5千円） |
| | 時計台、藻岩山 ロープウェイなど | | 国内観光客向け宿泊キャンペーン【3億円】 |
| | 市内観光施設無料キャンペーン【2億円】 | | 宿泊補助券（1万円） などをプレゼント |

＜飲食店等の事業者の取り組みに対する支援＞ 8億円

- ◆飲食店、レジャー施設等のグループの取り組みに対する支援【570百万円】
 - ・「北海道スタイル」を踏まえた販売促進等の経費を補助
(補助上限額：グループの構成員数に応じて600万円～3000万円)
- ◆クラウドファンディングを活用したプレミアム付き食事券への支援【200百万円】
 - ・販売総額を4億円→8億5000万円に拡充し、追加分のプレミアム30%を負担

＜文化・芸術活動に対する支援＞ 1億円

- ◆地元オーケストラ等による鑑賞機会の創出【43百万円】
 - ・札幌交響楽団やP M F 修了生が無料または低料金のコンサートを開催
- ◆無観客公演を行う文化芸術作品のインターネット配信への支援【69百万円】
 - ・補助対象を50作品→90作品程度に拡大(事業費：32百万円→101百万円)
※ 補助上限額：団体200万円/作品、個人50万円/作品

緊急対策第4弾の主要な財源

- ・国庫支出金 68億円
(内、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 62億円)
- ・道支出金 47億円

※ 第3弾までの対策に係る一般財源との財源振替(54億円)を行い、合わせて116億円の地方創生臨時交付金を活用